

東御市消費生活展で 楽しみながら食を学びました

11月14日、東御市公民館で「東御市消費生活展」が催されました。長野農政事務所地域第三課は、米消費拡大推進協議会の一員として会場で食料や農業に関するパネルを展示するとともに、ゲームやクイズに挑戦していただき、楽しみながら“食”を考えるきっかけを提供しました。



「パソコンクイズ」は、小学生の男の子に人気があり、マウスの扱いにもすぐに慣れ、問題をクリアしていました。

「手作りパズル」(写真下)は、小さなお子さん連れの親子が「出来た！次は豚、次は牛」と4種類あるパズルを完成させていました。



大豆を箸で運ぶ「お箸名人ゲーム」は、子供にも大人にも人気。2歳から89歳まで幅広い世代の皆さんがチャレンジしました。なかには「去年の記録を更新する！」と気合いの入った常連さんもいらっしゃいました。制限時間1分間で、最高記録は小学校高学年の女の子の59個でした。



クイズの問題にある「食事バランスガイドのイラストイメージは？」の質問に「ピラミッド」と回答される方もいらっしゃいましたが、多くの方が「コマ」と回答し、周知も進んでいるように感じました。

長野農政事務所地域第三課